



ビジネスサポートセンターやリターンセンター・出稼相談室がある岩手ビジネスプラザ2階入口

●特集 2●

首都圏で岩手を売る

岩手ビジネスプラザがスタート

7月14日、首都圏での岩手の情報発信基地として、また、県内企業の営業活動の拠点として「岩手ビジネスプラザ」が東京・有楽町に誕生した。県の第三セクター岩手県産株が管理運営している。

スタートから間もない19日、プラザを訪ねてみた。

■繁華街の一画に立地

JR有楽町駅を下りて、有楽町マリオンを左に見ながらにぎわいの「晴海通り」を横切ると目の前にニュートーキョービルがある。その奥並びの数寄屋橋大雅ビルの1、2階に目指す「岩手ビジネスプラザ」があった。実に数分の近さである。

約束の2時に遅れること5分、

プラザの内田所長は既に広島県庁からの視察の対応に追われており、早速案内も請わずに写真取材を始めた。

■順調な滑り出し

“アンテナショップ”

まず、1階のアンテナショップをのぞく。板前さん風の男性2人とそのこの経営者らしき人が県産日

本酒の展示コーナーで酒談義。ハキハキと笑顔で対応しているのは職員の小田原孝子さん。入口付近では中年のご夫婦がじっくりとショッピングをしていた。

「開いて1週間も経っていませんが、ふるさと志向といいますが、珍しいためか、意外と反応が早いですね。いらっしゃる方々は若い層が多いようです。近くがビジネ



◀岩手ビジネスプラザ1階のアンテナショップ。県産品売り込みの最前線として首都圏消費者の嗜好を捕らえる

▼アンテナショップで「岩手」を売る顔。左から小田原孝子さん、姉帯淳子さん



ス街ですので、お昼休みによく見られますね。口コミで広まっているようです」と、同僚の姉帯淳子さんが話してくれた。好調なスタートを切っているようだ。

■県産品売り込みのまさに最前線

あふれんばかりの県産品に圧倒され、後で内田所長にそのことを話すと、「昨日数えてみたんですが550品目はありますね。これでも数千ある県産品からみれば一部ですよ」とのこと。満杯状態では新規の展示販売の申し込みは無理ですね、との念押しに、「そんなことはありません」。どんなマジックがでるか聞いていたら「数カ月すると売れ筋商品とそうでない商品がでできます。当然、そうしたことでの入れ替えがどんどんでと考えています」。特産品を売り出すことの厳しさとともにアンテナショップの役割・姿を強く印象付けられた。

■ビジネス拠点に18区画

プラザの2階に入ると、試験研究機関の研究ブースのような仕切りのスペースが目を見舞う。フロアの大半を占めるビジネスサポートセンターである。企業の首都圏での活動拠点、いわばミニ営業所(出

張所)だ。専用電話やファクシミリなどが用意された18の区画は、既に花巻、宮古の両市と12の企業で埋まっているという。在室している2社(市)の方にお話を伺った。

■首都圏でのビジネスに意欲

はじめに、盛岡に本社がある北日本通信(株)。取材に応じてくれたのは飯野瑞恵さん。

「当社では、取引先などの大半が東京にありますので、以前から東京進出を考えていました。で、



▲「首都圏で業績を伸ばしたい」と話す北日本通信株の飯野瑞恵さん

具体的に営業所を設置しようと考えていた矢先、ビジネスプラザが開設するとの情報がありました。場所など大変良い条件にありますので、営業所開設の時期を多少遅らせても、こちらにお世話になることにしました。東京は日本の情報発信の基地として欠かせないところ。ここを起点に首都圏での市場拡大に大いに努力したいと思えます」

■花巻市も首都圏に足場

昨年12月まで花巻市の観光協会に勤務していた花巻市東京連絡所の梅津祐子さんは、「観光協会にいた経歴を生かして花巻を大いにPRしていきたい。花巻のことなら何でもお任せですね」と張り切る。連絡所開設の準備に駆け付けた市商工課の清水敦子さんは「本格的には来年の4月からスタートですが、やれることから手を付けようと、観光とか企業誘致とか人材確保とかを進めることで商工課が担当しています」とのこと。取材に応じてくれた2人は早速備品の購入に外出した。



▲「花巻のことならなんでもお任せ」と花巻市東京連絡所の梅津祐子さん

■幅広く岩手を紹介

このほか2階には県東京事務所にあったUターンセンター・出稼相談室が移ってきており、4人のスタッフが電話対応などに忙しく立ち働いていた。

相談室の前には百数十社を超える県内企業のパンフレットとともに市町村サポートコーナーとして県内59市町村の観光や物産などのパンフレットが置かれている。

夏休みに岩手を旅する計画を立てているのか、観光パンフレットを求める若い女性が訪れていた。

■「ここに岩手あり」

最後にやっと自席に戻った内田所長と話を。開口一番、名刺の束を差し出して「このとおり、県内や他県の行政関係者やマスコミの視察など来客に追われています」。内田さんはプラザの所長であるとともに、岩手県産の東京営業所長でもある。「ここは立地にも恵まれていますし、ビルの上に設置した電光掲示板から常に岩手の情報が流れています。『ここに岩手あり』ということをや大いにPRしていきたい」。

内田さん先頭に6人のスタッフが支えるプラザを後にした。見上げたビルの上には次々と入れ替わる電光文字の中、「岩手」の字が常に輝いていた。この2字が首都圏でどれだけ光彩を放つか大いに期待したいところだ。



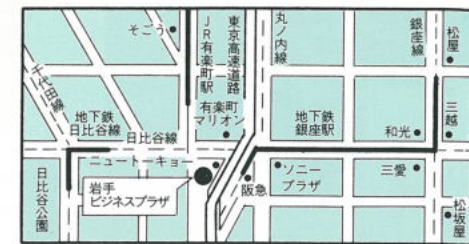
▲電話対応などで忙しいUターンセンター・出稼相談室の職員。電話はフリーダイヤル☎0120-556820で利用できる。中央の書架には市町村の観光・物産などの情報や県内企業の案内が備えられている



▲岩手ビジネスプラザの大きな目玉としてビル屋上に設置された縦2.4m横8.4mの大型電光掲示板。文字と絵で岩手の情報を流す

▶中央右がプラザの入居している数寄屋橋大雅ビル。「岩手ビジネスプラザ」の表示が見える

岩手ビジネスプラザ利用メモ



【交通のご案内】

- 地下鉄丸ノ内線・日比谷線「銀座」駅より徒歩1分
- JR「有楽町」駅より徒歩3分
- 数寄屋橋交差点より徒歩2分

【開館時間】

- 1階(アンテナショップ):午前10時~午後7時
- 2階(貸事務所等):午前9時~午後5時30分
- 休館日:1階/第1・3水曜日、年末年始
2階/土・日曜日、祝祭日、年末年始

アンテナショップ利用料金

利用料金	備考
1月 50,000円	1小間(180cm×90cm×180cm)を専有する場合
1月 1点 300円	4,000cm ² 以下
1月 1点 600円	4,001~10,000cm ²
1月 1点 900円	10,001cm ² 以上

*利用単位 1年

ビジネスサポートセンター貸しブース

利用料金	備考
1月 50,000円	利用単位 1年

【問い合わせ先】

- 岩手ビジネスプラザ
東京都千代田区有楽町2-2-2
(☎03-5568-2001)
- 県庁商政課
(☎0196-51-3111 内線2913)